

第15回 ハートシェア 終了しました。

「他の人はどうしているの？ ～医師とのコミュニケーション～」

H23年2月1日開催

今回はどんな会？

がん相談のお電話で、「主治医に質問してみましたか？」と尋ねてみると、質問していない場合が多くあります。「こんな質問は恥ずかしいのでは…」と悩んだり、「忙しそうで話づらい…」と二の足を踏む場合が多いようです。今回は、同じ悩みを持つ患者さまやご家族で気持ちを共有しながら、一歩前に進むためにどうしたら良いかについて考えました。

ミニ講演：「医師に上手く聞くコツ、病気を理解するためのコツ」 がん相談センター 相談員小玉

各グループで語り合った内容です！

医師とのコミュニケーションで困っていることについて

(1グループ)

- 先生が移動でかわった時、新しく診てもらう先生がどんな先生なのかが分かるまで気を使う。何回か診察を受けて先生の様子が変わるまでは聞きたい事も言い出せない。
- わからないことを聞きたいがどう聞けばいいか、機嫌を悪くしないか心配
- 薬を減らしたいと思っいろいろ調べて診察の時に相談したら、先生の機嫌が悪くなった。
- 入院中に、先生から声を掛けてもらってうれしかったし、気さくな感じで話やすくなった。
- (家族の立場) 親が入院中に身近にいる家族がいるのに、病状説明の時は長男が呼ばれた。身近にいながら先生の話聞く事ができなかった経験がある。

(2グループ)

- 先生にわからないことを質問したら「前に一度説明しました。」と言い、機嫌が悪くなってしまった。先生のことを信頼しているが、それから質問はしにくくなってしまった。よくわからないことがあっても、自分でインターネットなどで調べている。でも本当は先生に教えて欲しい。
- 会話の中で出てくる専門用語がわからない。先生からしたら簡単なことかもしれないが、なるべくわかりやすく説明して欲しい。
- 薬のことをもっと詳しく知りたい(この薬は何の薬? 効果は? 副作用は?)。ちょっとしたことなので外来の時先生には聞きづらい。
- 看護師さんに聞いてみると教えてくれるが、忙しそうだと聞きづらい。

医師とのコミュニケーションで工夫していること、話していて浮かんだアイデア (1グループ)

- 薬を受け取る場所で、薬剤師さんに質問する
- 院外薬局は、質問しなくても処方された薬のことを分かりやすく説明してくれる
- 看護師さんに気持ちや困っていることを伝えて、医師に伝えてもらう
- 受診時に、聞きたいことをメモしていく

(2グループ)

- 先生も人間だから機嫌が悪いときがあっても仕方ないと、先生のことをわかってほしい。自分と先生の関係の中だけで物事を考えるとつらくなるので、先生だって自分たちと同じように余裕がある日も余裕がない日もあると考えるようにした。
- 家族が自分の病気のことについて心配している時、先生から聞いた話を自分で伝えようとする、わからないこともあり、上手く伝えられず、お互いにイライラしてしまうことがあった。診察に家族も一緒に入るようにしたら、家族もメモをとったりしてしっかり話が聞けて、家族の不安がへった。
- ミナミナがとても役に立っている。お互いに情報提供しあうことではげましあうことができている。
- 自分から情報を仕入れる努力をすれば、わからないことや不安なことをカバーできる(ネット、本)。しかし、ネットだと情報がありすぎて困ることもある。



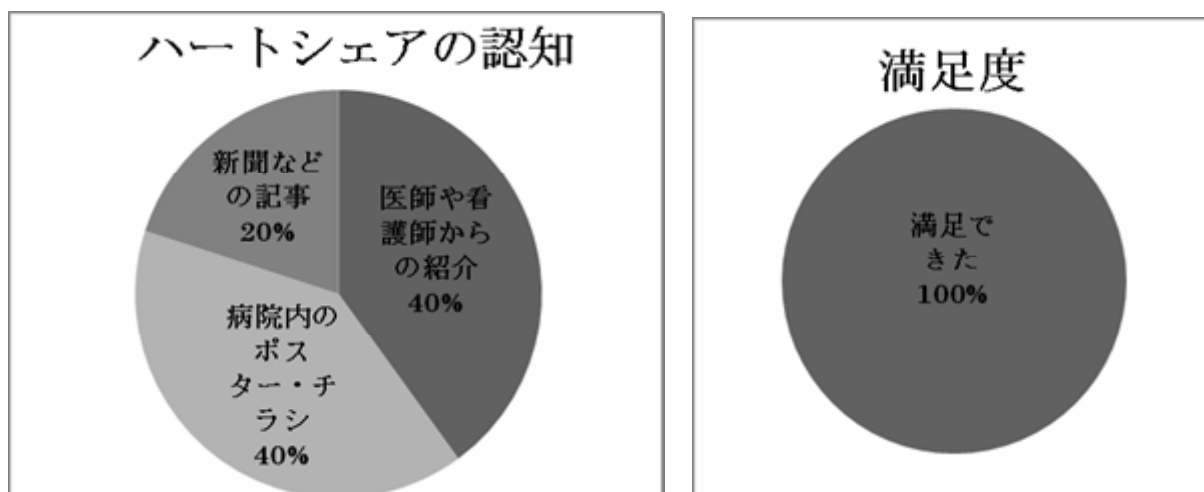
話し合いに参加した医師から
アドバイス

- 看護師は医師と患者さんの中間位置ではなく患者さん側に立つ訓練を受けている。分からないことや困ったことを看護師に相談して医師に伝えてもらうのはいいこと。
- (質問: 看護師さんに何でも相談したら迷惑ではないか?) 看護師は医師だけでなく、薬剤師や栄養士など様々な専門職とも連携して対応するので何でも相談して欲しい。
- 医師は患者さんを良くしたいと思って診療をしている。患者さんの悲しい顔や困った顔を見るとなんとかしなければと思うので、医師の対応で何かあったら悲しい顔や困った顔をしてみるといい(笑)。
- (質問: 患者は医師との相性を感じるが、先生たちはどうなのか?) プロとして関わっているので、相性の良し悪しは感じない。もし、そう感じる医師に出会ったとすれば、その先生は

まだ成長過程なんだと暖かい目で見てやってほしい(笑)。

相談支援センターから、これをおすすめ

- 質問内容をメモしておくのはいい方法。診察が終わろうとしているときに出すのではなく、外来受付の看護師にメモを渡して診察の時にこれを聞きたいと伝えておく方がいい。理由は、医師は患者さん呼び入れる前に様々な情報を整理しているので、患者さんが聞きたいことを事前に伝えてくれたほうが説明しやすいと思う。



アンケート 不満・満足の理由・感想・要望など(原文のまま)

聞きたかったことが聞けて良かったです。先生の話も参考になりました。

医師とのコミュニケーションは患者にとってとても大切。患者にとって看護師さんが味方の立場はとても相談しやすい

定期的に意見を聞ける時間があればよい

今回初めて参加しましたが、勉強になり良かったです

さすがは中野先生の発言、回答はとても素晴らしかったです。ありがとうございました。

医師や看護師の紹介をしてほしい(性格などがわかると…。)

ミナミナに行くボランティアの方はネームをつけていますが、患者たちは名前がわからない。今日のようにネームをつけて話ができるとより良いと思います。



【当日の様子】

参加者はそれぞれ立場や境遇の違う方々でしたが、医師とのコミュニケーションがみなさんの生活の中で重要なテーマであることが改めてわかりました。

2つのグループにわかれ、困っていることや工夫、アイデアについて語り合いましたが、それぞれにとって切実なテーマだけに話し合い

は盛り上がりました。最後に中野診療部長より医師の立場からコメントをいただくと、参加者より「先生方はそういうふうに思っているんだ。」「そうすればよかったのね。」など、とても納得した様子がみられました。

ある参加者は「みんな同じようなことで困っていることがわかって安心した。それに普段は聞けない医師の本音や考えを直接聞いたことで少しだけ医師に対する理解も深まった。」と話していました。医師も交えて参加者同士で語り合い、さまざまな立場からの意見交換ができた会となりました。まさに『医師とのコミュニケーション』がなされ、それを深められた会でした。

次回は、「どうしてですか？抗がん剤による皮膚トラブル」です。